

## 紀の國建設が女性活躍の認定企業 道南初の「三つ星」

© 2023年3月5日 18時27分



「えるぼし」の三つ星認定を受けた紀の國建設の女性社員

総合建設業・不動産業の紀の國建設（函館市昭和1、紀國隆二社長）は、道労働局が女性活躍推進への取り組みが優良な企業を認定する「えるぼし」の三つ星認定を受けた。三つ星認定は道内では同社を含め19社で道南では初めて。

えるぼし認定制度は、女性活躍推進法に基づき、女性職員の割合、継続就業、労働時間、女性の管理職比率、中途採用の状況の5項目で評価。基準を満たす項目数によって認定の段階が分かれ、5つすべてを満たすと「三つ星認定」となる。同社は昨年12月に認定を受けた。

同社社員は25人で、女性社員は9人が在籍。管理職は7人中2人が女性で、女性が占める割合は28・5%。厚労省が定める管理職比率の建設業の産業平均値3・1%を上回る。

入社6年目の二級建築士・西本風音さん（24）は「仕事で分からないことも聞きやすい雰囲気がある。資格取得の補助も助かっている」、2月から働く営業アシスタントの渡邊由梨加

さん（35）は「困っていることも優しく教えてもらえ、働きやすさにつながっている」と実感する。

今後はさらに高い評価基準を満たす「プラチナえるぼし」の認定を目指す。同社は「より働きやすい環境づくりを続けていきたい」としている。（飯屋遼太）